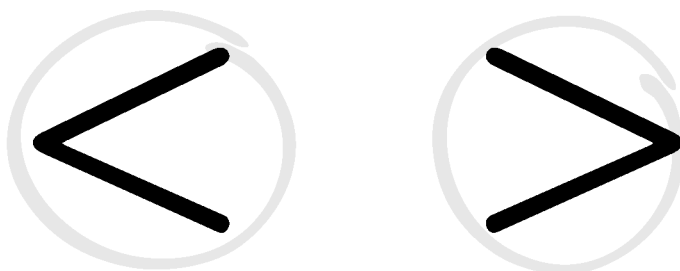


1) 上の<と>を違う色のマシで囲んでみせて、同じ形は同じ色で囲ませる。
2) 「同じ向きの形」と表現して不等号を連想させてもよい。
3) 左右の手の人さし指と親指で形を作って理解を助けてるのもよい。

a) <と>の形の弁別
b) 左右に対照した図形なので「向き」としてとらえることが
できる。
c) 斜の線は、視覚的な難しさをもっている。ことに再現、つまり描くとは難しい。

Date /
Note /
評



どっちとおなじかな？
おなじいろで かこもう。

